

## 広島県告示第665号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成24年8月2日

広島県知事 湯 崎 英 彦

### 1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県尾道市向東町14703番地の10 丸善製薬株式会社 代表取締役 井元 勝恵
工場又は事業場の所在地及び名称	尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1番140（尾道流通団地内） 丸善製薬株式会社新尾道工場

### 2 申請の内容

46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設8基，46 ニ 有機化学工業製品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基，47 ロ 医薬品製造業の用に供するろ過施設5基，47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設7基及び47 ホ 医薬品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基を設置する。また，排水処理施設1基を設置し，排水口を7か所設置する。

#### (1) 特定施設の種類，能力及び使用の方法

##### (その1) 新設

種	類	46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設（F-101）	46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設 3基（F-102，F-103，F-104）
能	力	ろ過能力 1 m <sup>3</sup> /バッチ	ろ過能力 0.5 m <sup>3</sup> /バッチ（1基当たり）

工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		平成25年4月30日		平成25年4月30日		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		完成後直ちに		
使用の 排出される 汚水 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間連続 (季節的変動なし)		4時間連続 (1基当たり) (季節的変動なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5~9	5~12	5~9	5~12
		生物化学的酸素要求量		1,300	1,300	1,300	1,300
		化学的酸素要求量		650	650	650	650
		浮遊物質質量		500	500	100	100
		窒素含有量		50	50	50	50
		燐含有量		7	7	7	7
		ノルマルヘキサ ン抽出物質含有量		5	5	5	5
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.5	0.5	1.5	1.5	
汚水等の排出先		排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800			

(その2) 新設

種 類	46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設 (F-106)		46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設 2基 (F-109, F-110)		
	ろ過能力 2 m <sup>3</sup> /バッチ		ろ過能力 0.2 m <sup>3</sup> /バッチ (1基当たり)		
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		平成25年4月30日		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間連続 (季節的変動なし)		1バッチ当たり2時間連続, 1日1基当たり4~6時間 (2~3バッチ) (季節的変動なし)	

使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5 ~ 9	5 ~ 12	5 ~ 9
生物化学的酸素要求量		200	200	2,000	2,000	
化学的酸素要求量		100	100	1,000	1,000	
浮遊物質		500	500	500	500	
窒素含有量		8	8	80	80	
リン含有量		1	1	10	10	
ノルマルヘキサノール抽出物質含有量		1	1	3	3	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )			0.5	0.5	2.5	2.5
汚水等の排出先			排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800	

(その3) 新設

種	類	46 ロ 有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設 (F-111)	46 ニ 有機化学工業製品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (A-922)			
能	力	ろ過能力 0.2m <sup>3</sup> /バッチ	処理風量 75m <sup>3</sup> /分			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	平成25年4月30日	平成25年4月30日			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	完成後直ちに			
使用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		2時間連続 (季節的変動なし)		7時間連続 (季節的変動なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5 ~ 9	5 ~ 12	5 ~ 9	5 ~ 12
	生物化学的酸素要求量		6,000	6,000	100	100
化学的酸素要求量		3,000	3,000	50	50	

の 方 法	排出される汚水等	浮遊物質	(単位： mg/L)	500	500	50	50
		窒素含有量		240	240	3	3
		燐含有量		30	30	1	1
		ノルマルヘキサ ン抽出物質含有量		250	250	5	5
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		0.5	0.5	1.0	1.0	
汚水等の排出先		排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800			

(その4) 新設

種 類		47 口 医薬品製造業の用に供するろ過施設 (2A-101)		47 口 医薬品製造業の用に供するろ過施設 (2F-105A)		
能 力		ろ過能力 630L/バッチ		ろ過能力 800L/時		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	平成25年4月30日		平成25年4月30日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間連続 (季節的変動なし)		2時間連続 (季節的変動なし)		
使 用 の 方 法	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5～9	5～12	5～9	5～12
		生物学的酸素要求量	18,000	18,000	3,000	3,000
		化学的酸素要求量	9,000	9,000	1,500	1,500
		浮遊物質	900	900	300	300
		窒素含有量	60	60	18	18
		燐含有量	2	2	1	1
ノルマルヘキサ ン抽出物質含有量		40	40	6	6	

	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	0	0	0	0
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	1.0	1.0	0.3	0.3
	汚水等の排出先	排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800	

(その5) 新設

種 類		47 口 医薬品製造業の用に供するろ過施設 (2F-105B)		47 口 医薬品製造業の用に供するろ過施設 (2F-222)		
能 力		ろ過能力 800L/時		ろ過能力 650L/時		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	平成25年4月30日		平成25年4月30日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		2時間連続 (季節的変動なし)		4時間連続 (季節的変動なし)		
使 用 の 方 法	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排 出 さ れ る 汚 水 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5~9	5~12	5~9	5~12
		生物学的酸素要求量	3,000	3,000	3,000	3,000
		化学的酸素要求量	1,500	1,500	1,500	1,500
		浮遊物質質量	300	300	100	100
		窒素含有量	10	10	30	30
		磷含有量	0	0	0	0
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	6	6	8	8
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.3	0.3	0.3	0.3
汚水等の排出先		排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800		

(その6) 新設

種 類		47 ロ 医薬品製造業の用に供するろ過施設 (2F-303)		47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設 (2F-113)		
能 力		ろ過能力 500L/時		分離能力 60L/バッチ		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	平成25年4月30日		平成25年4月30日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		2時間連続 (季節的変動なし)		6時間連続 (季節的変動なし)		
項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
使 用 の 方 法	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5~9	5~12	5~9	5~12
		生物学的酸素要求量	3,000	3,000	4,000	4,000
		化学的酸素要求量	1,500	1,500	2,000	2,000
		浮遊物質	300	300	0	0
		窒素含有量	0	0	30	30
		リン含有量	0	0	0	0
		ノルマルヘキサ ン抽出物質含有量	50	50	1	1
		アンモニア, アンモニ ウム化合物, 亜硝酸化 合物及び硝酸化合物	—	—	0	0
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	0.3	0.3	1.0	1.0
汚 水 等 の 排 出 先		排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800		

(その7) 新設

種	類	47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設 (2F-205)		47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設 (2F-206)		
能	力	分離能力 60L/バッチ		分離能力 60L/バッチ		
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	平成25年4月30日		平成25年4月30日		
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用の 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	4時間連続 (季節的変動なし)		4時間連続 (季節的変動なし)		
	項	目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される 汚水	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5 ~ 9	5 ~ 12	5 ~ 9	5 ~ 12
		生物学的酸素要求量	200	200	200	200
		化学的酸素要求量	100	100	100	100
		浮遊物質	10	10	10	10
		窒素含有量	180	180	30	30
		リン含有量	1	1	0	0
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	5	5	5	5
		アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	0	0	—	—
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	0.3	0.3	0.5	0.5		
汚水等の排出先	排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800			

(その8) 新設

種	類	47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設 2基 (2F-233, 2F-234)	47 ハ 医薬品製造業の用に供する分離施設 2基 (2F-313, 2F-314)
---	---	--	--

	能	力	分離能力 60L/バッチ (1基当たり)	分離能力 60L/バッチ (1基当たり)			
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日		平成25年4月30日	平成25年4月30日			
	使用開始予定年月日		完成後直ちに	完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間連続 (1基当たり) (季節的変動なし)	6時間連続 (1基当たり) (季節的変動なし)			
	項 目		通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5~9	5~12	5~9	5~12
		生物学的酸素要求量		200	200	200	200
		化学的酸素要求量		100	100	100	100
		浮遊物質		0	0	0	0
		窒素含有量		0	0	0	0
		リン含有量		0	0	0	0
		ノルマルヘキサノール抽出物質含有量		5	5	50	50
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		1.0	1.0	1.0	1.0	
汚水等の排出先		排水処理施設 A-800		排水処理施設 A-800			

(その9) 新設

種	類	47ホ医薬品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (2A-961)
能	力	処理風量 80m <sup>3</sup> /分
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	平成25年4月30日
	使用開始予定年月日	完成後直ちに



使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		7.5時間連続 (季節的変動なし)	
	項 目		通 常	最 大
	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5 ~ 9	5 ~ 12
		生物化学的酸素要求量	20	20
		化学的酸素要求量	10	10
		浮遊物質	50	50
		窒素含有量	30	30
		リン含有量	0	0
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	5	5
		アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	1,400	1,400
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.5	0.5	
汚水等の排出先		排水処理施設 A-800		

(2) 汚水等の処理の方法

種	類	排水処理施設 A-800
形	式	排水処理施設
主要寸法 (単位: m)		縦17.1×横24.3×高さ6.0
能力 (汚水処理)		75m <sup>3</sup> /日
汚水等の処理方法		好気性活性汚泥処理, 膜分離処理, 活性炭吸着処理
工期	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	平成25年4月30日

等	使用開始予定年月日		完成後直ちに			
	項 目		処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大
使 用 の 方 法	汚水等の汚染状態状態	水素イオン濃度（単位：水素指数）	5.0～.0	5.0～12.0	5.8～8.6	5.8～8.6
		生物化学的酸素要求量	1315	1315	20	30
		化学的酸素要求量	673	673	15	20
		浮遊物質質量	107	107	30	50
		窒素含有量	35	35	31	32
		リン含有量	4	4	1	2
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	9	9	8	8
		アンモニア，アンモニウム化合物，亜硝酸化合物及び硝酸化合物	10	50	10	50
	排出される汚水等の1日当たりの量 （単位：m <sup>3</sup> ）		72.95	72.95	72.95	72.95
	汚水等の排出先		工程排水口			

(3) 排水水の汚染状態及び量

(その1) 新設

排水口名	項 目	通 常	最 大
工 程	水素イオン濃度（単位：水素指数）	5.8～8.6	5.8～8.6
	生物化学的酸素要求量	20	30
	化学的酸素要求量	15	20
	浮遊物質質量	30	50
	窒素含有量	31	32

排水口	燐含有量	(単位： mg/L)	1	2
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量		8	8
	アンモニア，アンモニウム化合物，亜硝酸化合物及び硝酸化合物		10	50
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	72.95	72.95	

(その2) 雨水排水口 (No. 1～No. 6) の設置

### 3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成24年8月2日から平成24年8月23日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課並びに尾道市市民生活部環境政策課